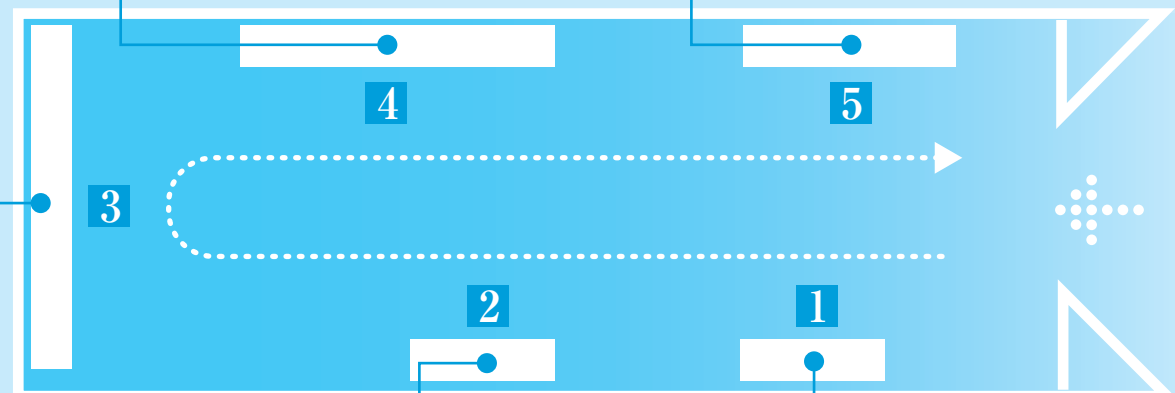


主な展示概要

- フレッツとは
- 無線を使ったインターネット接続
- モバイル通信 など

インターネットアクセス 回線の高速化／多様化

4



3

インターネット接続 サービスの商用化

- マルチメディア通信の共同利用実験
- OCNの登場・発展
- NTTのIPネットワークの成長と世界への広がり など

2

ワールドワイドウェブ (WWW)の登場

- 日本最初のポータルサイト「NTTホームページ」
- ウェブブラウザの国際化
- インターネットタウンページ など

1

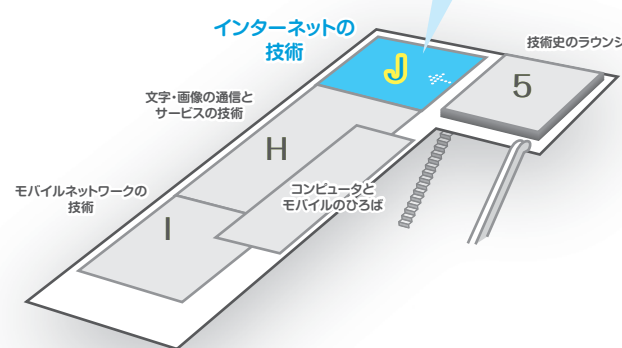
インターネットの はじまり

- TCP/IPによる日米間通信に成功
- NTTの研究開発ネットワーク
- インターネット標準(RFC)へのNTTの貢献 など

- iモードの登場
- 音声通信・映像配信・端末サービス
- IPv6インターネットへの取り組み など

端末／サービスの 多様化

5



3F

インターネットの技術 コーナー概要

NTT 技術史料館
NTT HISTORY CENTER OF TECHNOLOGIES

NTT技術史料館

〒180-8585 東京都武蔵野市緑町3-9-11 NTT武蔵野研究開発センタ内

開館時間 平日 10:00~17:00

Tel:0422-59-2093 e-mail:hct-info@lab.ntt.co.jp

<http://www.hct.ecl.ntt.co.jp/>

インターネットの技術

今日のインターネットの原型といわれるARPANETが1969年に誕生しました。インターネットは1980年代に拡大し、1990年代には爆発的に普及しました。今では私たちの生活に欠かせない社会基盤となっています。この「インターネットの技術」では、インターネットの誕生から現在に至るまで、NTTグループが日本および世界のインターネットの発展にどのように貢献してきたか、インターネットの発展が皆さんの生活にどのように関係してきたか、年代に沿って大きく5つのカテゴリに分け、豊富な史料とともにご覧いただけます。



フレッツ・ISDN用エッジルータ

5 端末／サービスの多様化

インターネットの普及・発展は、新しいサービスや大きな市場を生み出しました。1999年に登場した「iモード」は、携帯電話でいつでもどこでも手軽にインターネット上のコンテンツにアクセスできるようにしました。いつでもどこでも電子メールの送受信、天気予報の確認やレストランの検索などのサービスを受けられる利便性が評価され、それまでインターネットを利用していなかった層も含め、iモードは爆発的に普及していきました。さらに、インターネットを介して提供されるサービスは、Eコマースや広告・映像配信などにひろがるとともに、コミュニケーションの形態もソーシャルネットワークサービスが登場するなど多様化しています。



フレッツネットワークを使用したテレビ電話端末



初期のiモード端末

4

Windows 95やテレホーダイ(電話番号選択定額サービス)の登場によって成長・拡大してきた日本のインターネットは、NTT東日本／西日本が2000年に本格提供を開始した「フレッツ」サービスによって大きな変化を迎えました。NTT東日本／西日本は、フレッツを定額制のサービスとして提供することで、インターネットを一般家庭でも利用時間を気にすることなく24時間いつでも使えるようにしました。その後、FTTHに代表されるブロードバンド技術への対応によって画期的な速度向上を実現し、いまではフレッツは国内のユーザの多くが利用するサービスとなっています。また、無線によるインターネット接続も急速に普及し、携帯電話、公衆無線LAN、衛星などモバイル環境でのインターネット接続が多様化するともに、通信速度も年々向上しています。

4 インターネットアクセス回線の高速化／多様化



ISDNダイヤルアップルータ



ビデオ・オン・デマンド(VOD)サービス実験のセットトップボックス(STB)

3 インターネット接続サービスの商用化

3

1969年から研究開発や一部の企業で学術研究の目的で使われてきたインターネットは、アメリカでは1980年代末に、日本では1990年代初頭に商用インターネット接続サービスがはじまりました。NTTは1995年にコンピュータ通信需要に応えるオープンなインフラとして、それまでの電話網とは全く別の新しいネットワークサービスを開発・導入していくことを趣旨とした「マルチメディアへの取り組み」を発表、1996年12月に定額制をベースにした廉価なネットワークサービスをコンセプトとしたインターネット接続サービスである「OCN」サービスを開始しました。その後、インターネット全体の爆発的な発展とともに、OCNは日本最大級のISPに成長し、NTTのネットワークは国内／海外で急速に拡大していきました。



サービス開始時の低速加入者ルータ(OCNエコノミー)

2

2 ワールドワイドウェブ(WWW)の登場

1990年代、ティム・バーナーズ＝リーが考案したワールドワイドウェブの登場を境に、インターネットの爆発的な普及が始まりました。1993年には、ポータルと呼ばれるウェブページを紹介するウェブサイトの先駆けとしてNTTの研究者が「NTTホームページ(www.ntt.jp)」を立ち上げました。その後、ウェブサイトの増大にともない、インターネット上にあるさまざまな情報を整理して紹介するディレクトリ型の情報紹介サービスや、インターネット上の公開情報の全文検索を究極の目的とする検索サービスが登場しました。さらにそれらのサービスは、ニュース、ウェブ、メール、地図情報、地域情報などのサービスを併せて提供するポータルサイトへと発展していきました。NTTは、ウェブが普及する初期の段階から、これらのサービスをいち早く提供してきました。



「NTTホームページ」と「Japan Window」

1

1 インターネットのはじまり

東西冷戦下の1960年代、アメリカで生まれたパケット交換方式による調査・研究用のコンピュータ・ネットワークであるARPANETが、インターネットのはじまりです。NTT研究所は1985年に日本国内の学術・研究用ネットワークJUNETに参加し、そのバックボーンの一部として大きな役割を果たしました。さらにインターネットの基礎となる通信プロトコルTCP/IPを用いたNTT研究所内LAN構築を1984年から開始し、1988年にはNTT研究所(東京都武蔵野市)とスタンフォード大学(米カリフォルニア州)内のゲートウェイとの間でTCP/IP接続実験に成功、これにより初めてIPパケットが太平洋を横断しました。NTTはインターネット・ソサエティ(ISOC)の創立メンバー(1992年)になるなど、創立当初からインターネットの標準化や運用・管理に関する世界的組織の運営にも大きく貢献しています。



日本で最初に日米間TCP/IP接続実験に使用されたルータ(Cisco社製)



ISOC創立メンバーに贈られた盾

*本紙に掲載されている会社名、製品名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。